

令和2年4月1日

1. 紀要の査読に関する方針

- 1) 福岡県立大学人間社会学部紀要（以下、「紀要」と略す。）における査読とは、投稿者、査読者及び編集担当者の協働によって、論文の学術的レベルを維持・向上させるとともに、研究者同士の相互研鑽によって、より質の高い論文を生み出していくための過程とします。
- 2) 紀要の査読は、学部の学術研究を振興するものであり、学部教員としての職務の一環です。ただし、部会が認める理由（執筆者との利害関係、その他の業務負担など）による申し出があれば、これを辞退することができます。

2. 査読の観点

紀要は、人間社会学部の学術研究を振興し、研究発表の機会を保障するとともに、その成果を広く社会に還元・貢献することを目的とすることから（福岡県立大学人間社会学部紀要要綱第2条）、査読においては、論文の種類に鑑み、以下に示す観点で論文の意義を評価してください。

- (1) 独創性：新たな知見が得られており、独自の発想が認められる。
- (2) 学術的価値：学問としての発展に貢献できることが認められる。
- (3) 信頼性・妥当性：研究目的を達成する手段が妥当であり、結果や提示内容が信用できる。
- (4) 倫理的配慮：倫理的配慮がなされており、原著論文は原稿中にその旨が記載されている。
- (5) 論文形態：系統的な論文構成であり、ページ数等が執筆・投稿規定に沿っている。

	原著論文	総説論文	論説論文
独創性	必須条件	望ましい	必須条件
学術的価値	必須条件	必須条件	必須条件
信頼性・妥当性	必須条件	望ましい	望ましい
倫理的配慮	必須条件	必須条件	必須条件
論文形態	必須条件	望ましい	望ましい

3. 査読者としての心得

- 1) 紀要は専門誌ではありません。査読者は、福岡県立大学人間社会学部紀要要綱（第2条）に定める編集方針、福岡県立大学人間社会学部紀要執筆・投稿規定（第2条）に定める執筆者の責務及び本ガイドラインに定める査読方針に基づいて、学部の学術研究を振興する立場から、単なる批判ではなく、必ず建設的・教育的意見を付し、課題を指摘する場合には参考案を示すなど、論文が改善され、投稿者がより成長できるように支援してください。
- 2) 査読者は、研究方法及び論文の書き方が未熟な場合でも、当該分野における研究の意義が評価できれば、採用となるためにどのような修正を行うかという観点で、研究の意義が正当に理解・吟味できる論文となるように支援してください。ただし、論文としての体裁をなしていない場合は、この限りではありません。なお、論文としての体裁とは、以下のような事項です。
 - (1) 執筆・投稿規定を順守している。
 - (2) 研究題目が、論文の内容を反映している。

(3)文章がわかりやすく明瞭である。

(4)要旨と本文の内容が整合している。

(5)使用する概念、定義、論旨及び記述が統一され、論旨に一貫性がある。

(6)原著論文は、研究背景、目的、方法、結果、考察、結論、文献リストのような順で記載されている。

3) 査読者は、客観性、公平性を旨とし、論文の内容が自身の意見と一致しない、自身の研究と競合する、あるいは相反するなどの理由によって、論文を評価しないでください。

4) 論文の内容から投稿者が推定できる場合でも、投稿者及びその関係者へ直接連絡することは厳禁です。必要な場合は編集小部会から連絡しますので、編集委員にお知らせください。

5) 論文の内容（データやアイデア、題名も含む）については、論文が掲載されるまで公表しないでください。また、査読を行ったこと及び審査結果も同様です。

4. 査読の方法

1) 査読者は、指定された期日までに査読票をもって、編集小部会に結果を報告してください。

2) 1回目の査読結果は、「このまま掲載可 (A 判定)」「要修正、再査読なし (B 判定)」、「要修正、再査読あり (C 判定)」とします。なお、B または C 判定とした査読者は、必ず修正が必要な箇所及びその理由を添えてください。その際、投稿された論文の種類の変更について編集小部会に提案することができます。

3) 再査読は、執筆者から提出された修正論文、回答書及び修正対応表に従って行い、指定された期日までに再査読票をもって、編集小部会に結果を報告してください。

4) 再査読の結果は、「掲載可」または「要修正」とします。なお、「要修正」とした査読者は、必ず修正が必要な箇所及びその理由を添えてください。

5) 査読・再査読の評価において「要修正」とした場合の修正箇所及びその理由の指摘では、まず、Major comment (主要な修正点の指摘) を記載し、その後に、Minor comment (軽微な修正点の指摘) を簡潔に記載してください。

6) 原則として、1 回目の査読で問題点を全て指摘し、再査読では新たな問題点の指摘は行わないでください。

○福岡県立大学人間社会学部紀要要綱

(編集方針)

第2条 紀要は、福岡県立大学人間社会学部（大学院人間社会学研究科を含む。以下「本学部等」という。）の学術研究を振興し、研究発表の機会を保障するとともに、その成果を広く社会に還元・貢献することを目的として編集・発行する。

○福岡県立大学人間社会学部紀要執筆・投稿規定

(執筆者の責務)

第2条 紀要要綱第2条に定める編集方針に鑑み、執筆者は自らが携わる研究の意義と役割を社会に公開し、かつ積極的にわかりやすく説明しなければならない。